

# 平成 28 年度 施策評価表

施策 (音)	第 5 章『産業・経済』				
まちづくりの目標5	資源・特性を活かし 産業の活性化やにぎわいの創出を進めます				
分野別計画・指針	所沢農業振興地域整備計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、所沢市中心市街地活性化基本計画				
予算額	平成28年度当初予算	98,950 百万円中	727 百万円	構成率	0.7 %
基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針					
◆ 所沢の顔としての中心市街地の活性化					
◆ 雇用の確保及び創出のための取り組み					
◆ 地産地消の推進					
◆ 優良農地の保全と農業後継者の育成					
◆ 所沢の特性に合った工業の振興					
基本構想で掲げた「市の課題・方向性」への取り組み状況に対する振り返り					
<p>○地域資源活用・ものづくり総合支援補助等を活用して地元産農産物を使ったお土産品の開発を支援するなど、農商工連携による地域ブランドづくりを進めた。</p> <p>○地権者や地元自治会の意向調査を進めるなど、産業用地創出事業支援業務報告書の周知を図った。</p> <p>○地域人づくり事業により、雇用拡大事業では8社17人の新規雇用を創出し、処遇改善事業では従業員の賃金引上げ等を行った。</p> <p>○中心市街地の活性化として、野老澤町造商店に分担金を交付するとともに、国の補助事業の「中心市街地活性化人づくり事業」を活用し、野老澤町造商店の業務を通じ人材を育成した。事業支援を通じて中心市街地のにぎわい創出に貢献した。</p> <p>○埼玉西武ライオンズと、様々な分野で連携を図り、フレンドリーシティとしての周知を行い、ホームタウンとしてのブランド力の向上に努めた。</p> <p>○市内でのロケを受け入れることにより、まちの個性を生かした地域活性化を図った。</p> <p>○地産地消事業の新規事業として「体験学習型所沢農産物PR事業」を年2回実施し、市内外の消費者に対して「所沢農産物」のPR活動を実施した。</p> <p>○農業生産法人等及び新規就農者が農地を確保する際、農地の貸借に係る費用の一部を補助し、担い手への支援を行った。</p>					
基本構想で掲げた「まちづくりの目標の実現に向けた主な方針」の実行にあたって、特に力を入れていくこと。					
<p>○平成28年度及び29年度で、所沢市産業振興ビジョンを策定する。</p> <p>○企業誘致の推進を図るため、立地支援制度のPRを各方面に積極的に行う。</p> <p>○農商工連携により地域資源活用・ものづくり総合支援補助等を活用して地元産農産物を使った地域ブランドづくりを進める。</p> <p>○COOL JAPAN FOREST構想に掲げられた、旧コンポストセンターの利活用について検討を行い、施設整備等について準備を進める。</p> <p>○ロケーションサービス事業を通じて、市内外へ市の魅力を発信していく。</p> <p>○観光資源の発掘や創出を行うとともに、トコロんや観光大使も活用し、地域経済の活性化につなげる。</p> <p>○地産地消の推進を図るため、新規事業として「とことこ市」を毎月第二火曜日に開催し、所沢農産物の消費拡大を行う。</p> <p>○農業後継者の育成のため農業後継者協議会や4Hクラブに対して支援を行うと共に、認定農業者制度における経営改善計画の達成に資する補助事業を実施する。</p> <p>○優良農地の保全に向け農道境界石の復元作業と管理図面の作製を行う。</p>					
評価日	H28. 7. 28	記入者職氏名	産業経済部次長	増田 謙二	

指標の達成状況	節	指標	単位	<H25> 現状値	H27年度 実績	H27年度 目標値	H28年度 目標値	将来目標 (H30)
	第1節 農業	農地サポート事業の実績		ha	3.4	1.0	2	2
新規就農者数		人	0	3.0	2	2	2	
第2節 商業	市内小売業の年間商品販売額		億円	2,574 (H24)	2,574	2,574	2,574	2,800
	商店街空き店舗活用実績数		店	3	1	3	2	2
第3節 工業	製造品出荷額		億円	1,499 (H24)	1,628 (H26)	1,700	1,800	2,000
	事業所あたり償却資産課税標準額(機械及び装置)〔3か年平均〕		千円	13,549	13,127	14,100	14,400	15,000
第4節 観光	商業観光課フェイスブックの閲覧者数		千人	107	333.0	140	160	200
	観光客数		千人	5,739	6,089	6,100	6,300	7,000
第5節 労働・ 雇用環境	就労チャレンジ支援事業による就職者数		人	175	233	175	175	175
	中小企業退職金共済掛金等補助制度の新規利用事業主数		事業主	16	23	16	16	16

第1節	農業	農業が活性化し、農業者と市民が共栄するまち			
基本方針	5-1-1 生産基盤の整備推進				
	5-1-2 経営基盤の強化				
	5-1-3 農のあるまちづくりの推進				
関係所属	農業振興課、農業委員会事務局				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		616人	29.0%	27位	3位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○平成26年2月の大雪で被害を受けた農業用ビニールハウス再建(繰越明許分)7件の支援を行った。</p> <p>○担い手の育成・確保については、関係機関と連携して3名の新規就農者確保と支援を行った。</p> <p>○「農あるまちづくり」をすすめるため、連携協定に基づき東京農工大生(参加:先生2名・学生9名)による本市農業に係る研究会を実施した。</p> <p>○農業基盤整備推進事業(中富農道)については、農道築造工事が終了した。</p> <p>○地産地消と狭山茶ブランドを維持・発展させるため、各種イベントを実施し、PR活動を積極的に実施した。</p> <p>○農地サポート事業は、農地の借り手との条件が合わず目標に達しなかった。今後は、農地情報の一層の周知に努める。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○平成28年度及び29年度で、所沢市産業振興ビジョンを策定する。</p> <p>○生産基盤の整備推進を図るため、「人・農地プラン」や「農地サポート事業」の周知を図り、農地の流動化及び集約化を促進する。</p> <p>○経営基盤の強化を図るため、新規就農者や法人の農業参入を支援するとともに援農ボランティアなどの補助的労働力による担い手の確保を進める。</p> <p>○農のあるまちづくりの推進を図るため、体験農場や農産物収穫体験などを通して、生産者と消費者の相互理解を図る。また、所沢農産物の消費拡大とPR活動を実施するとともに、地産地消の推進を図るため、「とことこ市」事業の拡大を進める。</p> <p>○新農業委員会制度により平成29年度に農業委員の任命及び農地利用最適化推進委員の委嘱を行うための準備を進める。</p>					
特に力を入れる事務事業		産業振興ビジョン策定事業	農業後継者育成確保事業	地産地消推進事業	
評価日	H28.7.28	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二		
第2節	商業	活力とにぎわいにあふれた魅力ある商店街が身近にあるまち			
基本方針	5-2-1 魅力ある商業の振興				
	5-2-2 経営基盤の強化				
	5-2-3 商業環境の整備				
関係所属	産業振興課、商業観光課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		602人	28.3%	29位	4位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○所沢商工会議所が実施主体となり「ところざわプレミアム付商品券発行事業」を実施し、消費者の購買意欲の拡大及び地域経済と商店街の活性化を図った。</p> <p>○駿河台大学・飯能信用金庫と連携した消費動向調査により、各行政区ごとの消費動向を把握し報告書を作成した。</p> <p>○野老澤町造商店の業務を通じて、中心市街地の活性化に必要な人材を1名育成した。</p> <p>○商店街事業の支援として「魅力ある商店街創出支援事業」を引き続き実施し共同施設整備・共同事業等の支援を行った。</p> <p>○商店街空き店舗活用は目標値を下回った。希望はあったが対象外となるケースもあり、一層の周知活動が必要。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○平成28年度及び29年度で、所沢市産業振興ビジョンを策定する。</p> <p>○「魅力ある商店街創出支援事業」により、商店街のハード及びソフト事業の支援を行い、商店街の振興・発展を図る。</p> <p>○サクラタウンへの来場者を見越し、旧コンポストセンター跡地に、市の特産物の販売等を通じた市の観光PR要素を持つ施設を建設し、市の魅力をアピールする。</p> <p>○中心市街地のにぎわい創出にむけた事業について「中心市街地にぎわい創出支援事業補助金」を交付し、事業を通じた中心市街地の来街者の増加を目指す。</p> <p>○商店街空き店舗活用では、制度をPRするために県が運用する空き店舗サイトへリンクを張り周知を図る。</p>					
特に力を入れる事務事業		産業振興ビジョン策定事業	魅力ある商店街創出支援事業	中心市街地にぎわい創出支援事業	
評価日	H28.7.28	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二		

第3節	工業	個性豊かで、競争力のある企業が発展できるまち				
基本方針	5-3-1 生産基盤の整備					
	5-3-2 付加価値向上支援					
	5-3-3 地域に根ざした産業の育成支援					
関係所属	産業振興課					
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)			要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
			426人	20.0%	39位	5位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)						
<p>○「COOL JAPAN FOREST構想」の市の事務局である経営企画課と連携し構想の実現に協力した。</p> <p>○地域資源活用・ものづくり総合支援補助等を活用して地元産農産物を使ったお土産品の開発を支援するなど、農商工連携による地域ブランドづくりを進めた。</p> <p>○産業用地の創出に向けて地権者や地元自治会の意向調査を行うなど、「産業用地創出支援業務報告書」の周知を図った。</p> <p>○宿泊施設立地可能性調査を実施し、本市の状況を整理し、報告書を作成した。</p>						
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)						
<p>○平成28年度及び29年度で、所沢市産業振興ビジョンを策定する。</p> <p>○「COOL JAPAN FOREST構想」の市の事務局である経営企画課と連携し構想の実現に協力する。</p> <p>○企業誘致の推進を図るため、立地支援制度のPRを各方面に積極的に行う。</p> <p>○農商工連携により地域資源活用・ものづくり総合支援補助等を活用して地元産農産物を使った地域ブランドづくりを進める。</p> <p>○三世帯同居に伴う住宅改修工事等に補助金を交付し、絆を紡ぐ街づくりを推進するとともに、市内建設関連産業の活性化を図る。</p>						
特に力を入れる事務事業		産業振興ビジョン策定事業		企業誘致推進事業		
地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業						
評価日	H28. 7. 28	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二			

第4節	観光	魅力ある地域の資源を発信し、多くの人々が集うまち				
基本方針	5-4-1 観光情報発信の充実					
	5-4-2 観光資源の整備・活用					
関係所属	商業観光課					
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)			要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
			760人	35.8%	15位	2位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)						
<p>○ロケーションサービスにより、映画やドラマの撮影を91件誘致し、市内の撮影スポット等をPRした。</p> <p>○所沢市観光大使を活用し、メディアへの露出やイベントの開催や参加を進め、市内外へアピールした。</p> <p>○観光コンシェルジュ養成講座を開催、13名が修了した。ガイドツアーを中心に市街地と航空記念公園の2コースで11件行い、149名が参加した。</p> <p>○所沢市観光協会と連携し、ところんソングの普及を図るなど、観光事業の実施や観光情報の発信を行った。</p>						
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)						
<p>○平成28年度及び29年度で、所沢市産業振興ビジョンを策定する。</p> <p>○映画やドラマ、CM等の撮影舞台を所沢市に誘致することで、市のイメージアップと地域経済の活性化を図る。</p> <p>○ところんや所沢市観光大使を活用し、様々なメディアやイベント等を行い、市内外へアピールする。</p> <p>○観光コンシェルジュの活用と養成を同時に展開し、市の魅力発信を行う。</p> <p>○所沢市観光協会と連携し、観光資源の発掘や創出を行い、観光客増加に向けた取り組みを積極的に行う。</p>						
特に力を入れる事務事業		産業振興ビジョン策定事業		観光魅力発信事業		
イメージマスケットところん活用事業						
評価日	H28. 7. 28	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二			

第5節	労働・雇用環境	地域で安心して働ける環境があり、充実した就労支援が受けられるまち			
基本方針	5-5-1 就労支援の充実				
	5-5-2 勤労者福祉の向上				
	5-5-3 労働環境の改善				
関係所属	産業振興課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		813人	38.3%	10位	1位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○引き続き埼玉県とともにキャリアセンターブランチ所沢事業を実施し、若年者、女性、中高年を対象とする就職支援セミナーを実施するとともに、心理相談や就職相談を実施した。</p> <p>○地域人づくり事業により、人材を育成しながら雇用を確保していくとともに、在職者の処遇改善につながるよう市内中小企業の販路開拓や経営改善のための支援を行った。</p> <p>○国との一体的な取り組みとして、ハローワーク所沢と共同で「就労チャレンジ支援事業」を実施し、生活困窮者及び若年者の就職を支援した。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○平成28年度及び29年度で、所沢市産業振興ビジョンを策定する。</p> <p>○埼玉県とともにセカンドキャリアセンター所沢事業を実施し、若者、女性、中高年、シニアを対象とする就職支援セミナーを行うとともに、就職相談などを実施する。</p> <p>○国との一体的な取り組みとしてハローワーク所沢と共同で「就労チャレンジ支援事業」を実施し、生活困窮者及び若年者の就職を支援する。</p> <p>○中小企業の勤労者への福利厚生事業を推進するため、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営事業の支援を行う。</p>					
特に力を入れる事務事業	産業振興ビジョン策定事業	セカンドキャリアセンター所沢事業	就労チャレンジ支援事業		
評価日	H28.7.28	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二		